

ハンドマイク・スポット参考例・ガザ問題等(2023.11)

ません。イスラエルはガザ攻撃をただちに中止すべきです。

※

〇〇のみなさん、こんにちは。私たちは日本共産党の〇〇支部(の〇〇)です。

毎日のお仕事(子育て)、おつかれさまです。テレビや新聞のニュースでは、戦争や貧困など暗い話題が多いなかで、明日に希望のもてる世界はどうやって実現できるのか。私たち日本共産党と一緒に考えてみませんか。

●「人道的休戦」を求め、121の国が賛成した国連総会決議に、日本政府は棄権しました。アメリカに忖度しているからです。戦争放棄の憲法9条をもつ国なのに、恥ずかしくないのでしょうか。政府はイスラエルに停戦を迫るべきです。

●いまパレスチナのガザ地区は、罪のない市民、子どもが大量虐殺されるジェノサイドの危険に直面しています。日本共産党は、イスラエルに国際法違反のガザ攻撃をただちに中止することを強く求めます。「ジェノサイド許すな」の声を広げましょう。

●暴力は憎しみの連鎖を生み出すだけで何も解決しません。イスラエルとパレスチナの紛争を解決する手段は、話し合い以外にありません。日本共産党は、双方が即時停戦し、話し合いのテーブルにつくことを強く求めています。

●イスラエルによるガザ地区への攻撃で1万人を超える市民が殺され、このうち4600人以上が子どもたちです。ただちに攻撃を中止させるために、日本共産党は、国連や関係する国々に、国際NGOにたいして緊急に行動するよう、直接要請しました。

(経済再生プランについては、10月のスポットを引き続き活用下さい)

●ハマスによる無差別攻撃も絶対に許せません。日本共産党は人質の解放を強く求めています。しかし、だからといってガザでのジェノサイドは正当化でき